

週刊「へえーそー！五郎久保」第39号

(略して「へそゴロ」)

発行人 安達良元(全昌院住職)

Q、つる屋酒店の隣は？

A、現在は「ヤマザキ建築工業」だが、その前を知らない。

Q、そして

A、その隣は「丸岡パン屋」である。昔からこの脇に都バスの停留所がある。「東長崎駅通り」である。

Q、路地を挟んで

A、そこにはかつてレストランがあった。残念ながら、筆者は行ったことがなかった。「マルコ」とかいう名前だった。

Q、そして

A、いまは、クリーニングの「ルック」である。ここも以前何があったかな…？

Q、それから

A、わが檀家さんの豆腐屋「尾張屋」である。5年前に、地井武男の「ちい散歩」で放映された。その時描いてもらった色紙が、店のショーウィンドウに飾られている。いくらもしないで、地井さんは亡くなってしまった。因果関係は全くない。

なぜこの店名なのか、聞いたこともない。先代の親父さんの出身は栢山(かやま)とは聞いたが…。因みに栢山とは小田急沿線、現在は小田原市内であるが、かつては足柄上郡栢山村である。

ここは、二宮尊徳の生誕地らしい。駅のプラットフォームにも案内板が出ている。早い話が二宮金次郎である。正式には金治郎と書くようである。江戸時代のサムライだ。昔の小学校の校庭には、タキギを背負って教科書を読む像があったものだ。

1787年に生を受け、1856年に栃木県今市(現在は日光市)に没している。

神社、記念館、資料館、顕彰碑、唱歌、歌謡曲などが各地にある。経世済民を目指して報徳思想を唱え、報徳仕法と呼ばれる農村復興政策を指導した。(「ウィキペディア」より)

Q、その隣は

A、今はマンションである。その前は「東海銀行南長崎出張所」、それ以前は「三和信用金庫南長崎支店」、もっと前は八百屋、「上原青果店」だったと記憶している。